

科目名称：	ファッション・スタイリスト演習Ⅱ		
担当者名：	荒川 美恵子, 成瀬美子, 堀 一浩		
区分	授業形態	単位数	
専門教育科目	演習	8	
授業の目的・テーマ			
生活に根ざした美術である衣服の製作を基本として、ファッションを中心とした幅広いライフスタイルの提案を行い、ジャンル・素材を横断しながら自己表現の基礎を確立する			
授業の達成目標・到達目標			
衣服の制作を通して生地やパターン、デザイン等ファッションの基礎を習得することを目的とする。衣服の制作だけではなく、アクセサリの製作やブランド展開、ショップの提案なども行う。 ※地産業界や地域から依頼された課題を適宜取り入れ制作していく。			

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	積極性・関心度	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			60	40	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 荒川 美恵子/パターンナー、アパレルグレーダー、衣装制作、オーダーメイド制作	《経験年数1》28年
	《内容2》 成瀬美子/デザイナー、パターンナー、衣装制作、オーダーメイド服仕立て	《経験年数2》23年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
作品の完成度・技術	素材の特性を理解し、コンセプトに適った選択をしており、非常に丁寧に作業がされている。	コンセプトに合わせた素材・方法を試み、丁寧に作業がされている。	コンセプトを考えながら表現方法を模索している。	コンセプトがまとまらず、作業も丁寧さを欠く。
研究する姿勢	自己の方向性を理解し、スケジュールを管理しながら新しい表現の研究にも積極的に取り組む。	スケジュールに従い作業を計画し、努力して製作している。	作業内容の理解に努め、遅れずに制作に付いて行っている。	作業内容が把握できておらず、制作が遅れる。
独自性	新しい提案があり、他にない個性が表現されている。	個性を認識し、表現できるように工夫されている。	個性を模索し、ある程度表現できている。	個性が十分に表現できていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 自由制作1-1 デザイン	制作の下調べ、デザインを行っておく。	150分
第2週 自由制作1-2 パターン制作	パターン制作の下調べをお行っておく。	150分
第3週 自由制作1-3 パターン制作	パターン制作の下調べをお行っておく。	150分
第4週 自由制作1-4 仮縫い	仮縫いの下調べをお行っておく。	150分
第5週 自由制作1-5 本制作	本制作の工程の下調べを行っておく。	150分
第6週 自由制作1-6 本制作	本制作の工程の下調べを行っておく。	150分
第7週 自由制作1-7 本制作	本制作の工程の下調べを行っておく。	150分
第8週 自由制作2-1 デザイン	制作の下調べ、デザインを行っておく。	150分
第9週 自由制作2-2 パターン制作	パターン制作の下調べをお行っておく	150分
第10週 自由制作2-3 パターン制作	パターン制作の下調べをお行っておく	150分
第11週 自由制作2-4 仮縫い	仮縫いの下調べをお行っておく。	150分
第12週 自由制作2-5 仮縫い	仮縫いの下調べをお行っておく。	150分
第13週 自由制作2-6 本制作	本制作の工程の下調べを行っておく。	150分
第14週 自由制作2-7 本制作	本制作の工程の下調べを行っておく。	150分
第15週 自由制作2-8 本制作 / オーディション (プレゼンテーション)	本制作の工程の下調べ、オーディションの準備を行っておく。	150分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、調べた内容を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
課題作品の提出を原則とし、作品の評価（60%）、制作への積極性・関心度（40%）の総合評価

課題に対してのフィードバック

学習成果をコメントシートでフィードバックする

教科書・参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座〈4〉スーツ・ベスト
改訂版・文化ファッション大系服飾造形講座〈3〉ブラウス・ワンピース